

氏 名	R・K
専 修	国際開発農学専修
学 年	学部4年生
渡航先	ベトナム
期 間	2024/3/3～2024/3/10
内 容	今回の実習で最も印象的だったのは、現場での国際的基準や新しい生産技術の導入でした。見学させていただいたレモン生産の組合では、高い安全性や持続可能性を求める輸入市場に対応し、日本ではあまり主流ではない生産基準である global GAP が導入されていました。また、高く輸出できるエビを集中的に生産するために土地を囲い込んで管理する農家が増えていることも知ることができました。これらはどちらも国際市場を強く意識した動きであり、日本にいるときには気づくことができなかった点に注目することができました。今回は初めての訪問でしたが、何もできないのに現地の方々にもてなされてばかりであった点が心に残ります。さらに知識や技術を身に着けた上で再び伺えたら良いなと思いました。  レモンの仕分けをする機械 コメとエビを同時に栽培する農地（収穫後）